



平成 27 年度の新しい取り組み～社会的活動の拡大へ～

27 年度は、社会的活動の拡大を目指します。そのひとつとして現在京都市などが提唱している「双京構想」について、都草がどう関わっていくべきかを考えています。ご存知の方もおられると思いますが、双京構想というのは、「日本人の心の支えである皇室の弥栄のために、皇室の方々に日本の歴史・文化の中心であり、日本人の心のふるさとである京都にお住まいいただき、東京と京都が都としての機能を双方で果たす」といった趣旨のものです。

都草としては双京構想の是非を問うのではなく、NPO 法人として京都市民に対して“市民レベルで双京構想を考えよう”という呼びかけをしていくことです。具体的には都草主催のシンポジウムの開催などが考えられます。

6 月頃に会員の皆様とともに「双京構想」に関する勉強会や討論会を行った上で、都草としての最終的な活動方針を考えていきたいと思ひます。

さて、都草は来年創立 10 周年を迎えます。10 年近い歳月に都草の活動内容は多様化し、会員数も著しく増加しました（現在約 370 名）。しかし、どんなに組織が大きくなり複雑になっても、「楽しく生きがいのある“場”をみんなで創っていく」という都草の基本理念を見失わないようにしたいと考えています。現在公募中の 5 年後に向けての企画案もふるってご応募ください。今期もみなさま方のご支援・ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。（理事長 坂本 孝志）



上京区役所新庁舎竣工記念イベント事業「上京の四方山ばなし《伝説を中心に》」

2 月 8 日から 10 日までの 3 日間、6 名の都草会員が四方山ばなしを行いました。「上京市電物語（新井 滋子）」、「上京のお地蔵さんとパワースポット（田村 光弘）」、「北野の天神さんと出水の七不思議（芦田 喜雄）」、「再発見！京都御苑の魅力（小松 香織）」、「西陣おもしろウォッチング（文字 英夫）」、「上京のちょっと怖い話（藤井 久美子）」。各人の個性を發揮して 1 時間ずつお話ししました。定員 40 名のところ、初日 70 名、2 日目 92 名、ついに 3 日目には 107 名と大幅にオーバーしたため隣室を開放していただきました。資料の増刷も汗だくで対応しました。3 日ともご参加頂いた方も多く、アンケートによると内容も語りも好評で、このような機会を続けてほしいとの声も多数頂きました。私たちも今回の事業を単なるイベントで終わらせるのではなく、お客様の声を力に都草の新しい魅力の発信の場として続けていきたいと思ひます。（専務理事 田村 光弘）

◆ 「上京市電物語」を担当して



上京四方山ばなしにおいて、N 電（チンチン電車）について ①市電の歴史 ②電車の軌跡をたどる ③市電の未来 ④昔の電車の映像 という構成で発表させて頂きました。どういう年齢層の方が、何人くらい参加されるかわからなかったのが、話す方と聞く方のズレが心配でした。最後は単純に「ふーん、そうか」と思っていたことを第一義と考えて臨みました。予想を超える参加があったので、写真の紙媒体は少し不適當だったと反省してます。切島会員には資料提供やウォークなどを、そして当日も他の方々に助けてもらい、無事？終わることができ感謝しております。（会員 新井 滋子）

◆◇ 美化活動 100 回に寄せて ◇◆



2007 年 7 月 29 日に行った吉祥院天満宮を第 1 回の美化活動として、2015 年 1 月 14 日の平安神宮で 100 回を迎えました。今まで 68 の神社や寺院の美化活動を行ってきました。その中では複数回のところや、毎年行って欲しいといわれるところもあり、喜んでもらっております。美化活動という全くのボランティア活動のため、最初はこのように長く続くとは思っておりませんでした。これもひとえに会員の皆様の熱意のおかげだと思っております。美化活動終了後の心のすがすがしさは何ものにも代え難いものです。また、終わった後に日頃見られない宝物殿や本殿などの見学も楽しみの一つです。今後も会員の方々に美化活動を盛り立てて頂き、より充実させていきたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。(理事 鹿田 晴彦)

がしきは何ものにも代え難いものです。また、終わった後に日頃見られない宝物殿や本殿などの見学も楽しみの一つです。今後も会員の方々に美化活動を盛り立てて頂き、より充実させていきたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。(理事 鹿田 晴彦)

★ ここ 2 年間 (全 37 回) のうち、参加回数が多かった下記の会員の表彰式を行いました。

羽田 徹夫 (34 回)、菊井 俊彦 (32 回)、大井 康正 (28 回)、山本 達子 (27 回)、古賀 田鶴子 (25 回)
和泉 良子 (25 回)、長田 拓志 (23 回)、蔦谷 美砂子 (23 回)、横井 礼子 (20 回)、新井 滋子 (20 回)
(以上 敬称略)



◆ 充実の美化活動



平成 23 年秋に、会員番号 318 をいただいて都草の会員になりました。それ以降、日時の許す限り美化活動に参加してきました。有名な神社仏閣の普通では立ち入れない所に入って清掃ができ、そのあと宮司様等のお話も聞けて、適度の疲労感とともに心も満たされ、定年退職後の生活に張り合いを頂いております。実施される間隔も私にとっては自然で、幹事の皆様のおかげで新たな活動場所も増え、今後とも積極的に参加していきたいと考えております。(会員 羽田 徹夫)

◆ 美化活動に参加させて頂いて

私は都草に入会して随分月日が立ちました。都草からは頂くものばかりで何かお役にたつものは無いかと考え、体を使う美化活動に参加しています。先日の 100 回記念の平安神宮では理事長の話聞き意を強くしました。美化は気持ちよい生活の中からだと思っています。これからは無理をせず頑張って参加したいと思っています。私はただ参加しているだけですが、美化委員の皆様のお話を聞くと迷惑を掛けてはいけないと思っています。場所の決定、終ってから各寺社のお宝拝見、その他色々の交渉など、たいへん努力されていると思います。美化の楽しみは終ってから色々の事を知る事です。まだまだ知らない事が多いので有難いです。これからはよろしくお願い致します。(会員 大井 康正)



◆ 楽しい美化活動

友人に都草入会を誘われたものの、ガイドができるほどの知識がなく迷っていましたが美化活動の存在を知り、これなら自然体で参加できると思い入会しました。社寺の掃除をしながら達成感を味わえる上に、ときには森林浴ができ、普段は耳にできないお話まで聞ける贅沢さが楽しいです。地理には疎かったのですが、今ではバス路線を調べ目的地を探す事にも慣れました。釘抜地蔵から始まった私の美化活動、これからは精一杯続けたいと思っております。(会員 古賀 田鶴子)